

# おかちまち たいとう

台東区立御徒町台東中学校 学校だより

第10号 令和3年1月19日(火)

校長 福沢 俊之

TEL (03)3831-3787

学校ホームページ

<https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1320111>



## 3学期始業式講話から

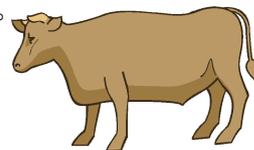
校長 福沢 俊之

「誰もが経験したことのない」という言葉を最近聞かなくなったような気がしていたのは、新しい生活様式が定着してきたからなのかもしれないと思っていました。しかし、年末から年始にかけて全国で感染者数が日々最多数を更新し、1月8日に緊急事態宣言が発令されたことは、社会全体がこれまでにない状況に置かれていることにほかならないと考えます。

生徒のみなさんは、この年末年始をどのように過ごしたでしょうか。例年とは違った年末年始を過ごした人たちも多いかもしれません。それでも「年を越す」ということは、私たちにとって意味深く、様々な思いが込められているように思います。昔から「一年の計は元旦にあり」といわれます。目標を決め、その達成に向けて計画を立て、実行する。そのための第一歩を踏み出す日こそ大切であるということなのでしょう。そのような考えをもって私たちは初詣に出かけます。皆さんの中にも初詣に出かけた人もいないかもしれません。私は、正月には毎年決まった神社に出かけていましたが、三密を避けるため今回は年末に行きました。初詣では「今年もよい年でありますように。」などと願い事をしますが、いつの頃からか私は「〇〇でありますように。」でなく、「〇〇となるために精一杯がんばります。」と手を合わせるようにしました。自分の決意を表明する形として手を合わせて誓いを立てるのです。目標が達成されるか否か、願いがかなうか否か、それはすべて自分の努力と責任であるという考えです。

今は誰もが「新型コロナウイルスの感染拡大が収まりますように。」「平穏な日常生活に戻りますように。」と願っていると思います。ただその願いは神様がかなえてくれるのではなく、私たち一人ひとりの努力であったり、我慢であったり、継続していく力にかかっていると考えます。一、二年生はもちろんですが、特に三年生は、体調管理をしっかりした生活を送ってください。

コロナ禍での生活は、誰も望むものではありませんが、大変な中、せめて、自分が社会の一員であることを再認識する機会となる、望ましい人権感覚を身につける機会となることを願っています。



## 和牛肉が給食で提供されます

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、営業時間の短縮などや、国民の外出の自粛等の影響で外食産業がダメージを受けています。和牛肉等高級食材の需要が減少し、価格が下落しています。在庫が増えることで生産者の経営も悪化しています。

農林水産省が国産農林水産物等販売促進緊急事業費として約1,400億円を確保して消費拡大のために小中学校の給食に和牛肉を提供することになりました。本校でも1月と2月の計3回の提供になります。1月には今日の給食の「牛丼」と29日には「すき焼き風煮込み」として提供されます。

## 3学期の見通しをもとう

新年にあたって、目標をたて、決意を新たにしましょう。この1年が良い年になりますように。3学期は、あっという間に過ぎ去っていきます。

3年生は出願・入試・発表、と重要な日が続きます。一方、1・2年生は立志のつどい、校外学習があります。そして3月、卒業式・修了式に向けて準備をする時期になります。今学期3年生が登校する日は今日を含め47日、1・2年生でも51日しかありません。この残り少ない日々を、君たち自らの力で充実させてください。そのためには、3学期、どんな行事が行われ、どんな努力をしなければならないか、見通しをもつことが大切です。いつも先を考えながら行動してください。

2月



6日(土)立志のつどい	16日(火)1年校外学習
8日(月)専門委員会	23日(火)天皇誕生日(祝)
11日(木)建国記念の日(祝)	25日(木)学年末テスト(保体・英・社)
12日(金)日本漢字能力検定	26日(金)学年末テスト(美・技家・理)
13日(土)実用数学技能検定	27日(土)学年末テスト(国・数・音)

\* 入試関係

都立推薦入試	発表(2日)	
都内私立高校一般入試	入試(10日～)	発表(10日～)
都立高校一次・分割前期入試	入試(21日)	発表(3月2日)

3月



2日(火)2年校外学習	19日(金)第19回卒業式
6日(土)学習発表会	20日(土)春分の日(祝)
12日(金)～13日(土)3年修学旅行	23日(火)1、2年保護者会
17日(水)卒業式予行	25日(木)修了式
18日(木)卒業式準備	26日(金)新入生クラス分けテスト

\* 入試関係

都立高校一次・分割前期入試	入試(2月21日)	発表(2日)
都立高校二次・分割後期入試	入試(10日)	発表(16日)

## 玄関にある日本人形の紹介

みなさんが登校して、いつも玄関で出迎えてくれている日本人形に気付いていますか。いつから、どのような経緯で置かれたのかを今回は紹介します。玄関にある人形は「真多呂人形(またろにんぎょう)」という人形です。地域にお住いの株式会社取締役社長深山三郎様より寄贈していただきました。

江戸元文年間に、京都の上加茂神社に仕えていた高橋忠重という職人が作った小ぶりの人形が「木目込み人形」の始まりとされ、以降、江戸・明治に様々な変化を経て発展し、東京の人形師吉野栄吉が京都から木目込みの技術を持ち帰り、現在の木目込み人の基礎を築きました。真多呂人形は、上加茂神社から木目込み人形の正統伝承者として、唯一の認定を受けており、初代・金林真多呂は木目込み人形の技法を継承するとともに、新たに創意工夫を加え、真多呂人形を完成させ、大正8年、御徒町にて創業しました。初代・真多呂と親戚関係にある寄贈者深山三郎様が数十年も前に、初代・真多呂から譲り受けた人形を地元の御徒町台東中学校の生徒のため、令和元年9月2日に寄贈していただきました。



初代の真多呂人形「宝船」。めでたい人形ですので、みなさんにならざる福を運んでくれると思います。下校する時に見てください。貴重な国宝級の人形なので大切にしたいです。